指導と評価の年間計画（シラバス）

学校番号	1205
大阪府立岬高等学校　総合学科	

平成　31 年度　　公民　　科

教科	公民	科	科目	現代社会	単位数	2　単位	年次	3　年次
使用教科書（出版社）		高等学校　改訂版　新現代社会（第一出版）						
副教材等（出版社等）		なし						

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の社会について考察し、平和とは何かを考える力を養う。
・現代社会の問題について、多角的な視点を持ち、考察できるようにさせる。
・現代において起きる様々な事象に興味・関心を持ち、取り組めるようにさせる。

2．学習の到達目標

・人間の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：資料活用の技能	d：知識・理解
観点の趣旨	現代社会の基本的な問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考えようとする態度と民主的・平和的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代社会の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	私たちの生きる社会	・資源・エネルギー問題と私たちの生活	・限りある資源 ・資源問題の解決をめざして	○	○	○	○	a:エネルギー政策の見直しとともに新エネルギーの現状について理解し、省エネルギーと循環型社会について関心を持つことが出来る。 b:資源の有限性について理解を深め、原子力発電の問題を例に、資源・エネルギー問題について多角的に考察することが出来る。 c:教科書の図などを利用し、環境問題についての現状を把握することが出来る。 d:これまでの環境問題や資源問題の変遷を把握し、現在の取り組みについて理解出来	授業プリント 定期考査
		・科学技術の発達と私たちの生	・科学技術の発達と生命 ・生命倫理をめぐる問題		○		○	b:医療の発達により、人類がはじめて直面する問題が生じていることを、具体的事例をあげて表現する。 d:科学技術の発達が社会や生活をどのように変えてきたか理解する。	授業プリント 定期考査
		・高度情報社会と私たちの生活	・情報の高度化の進展 ・高度情報社会の課題	○	○	○	○	a:なぜ高度情報社会が成り立ったのかを考察できる。 b:高度情報社会とは何かについて理解し、情報化の進展が社会に及ぼす影響について理解する。 c:教科書の図や資料を基に、情報化によって発生する問題について整理できる。 d:今後の情報社会のあり方を考察し、表現できる。	授業プリント 定期考査
	現代社会と人間としてのあり方生き方	・青年期と自己の形成	・青年期とは ・青年期を充実させるために ・伝統や文化とのかかわり ・社会とのかかわり	○	○		○	a:青年期におけるさまざまな悩みと、それを克服するためにはどのようにすればよいか理解する。 b:人生の中で青年期はどのような意味を持つのか考察する。 d:一人前の人間として自立するためには何をしたらよいか考える。	授業プリント 定期考査
		・個人の尊重と法の支配	・個人と国家 ・法の支配 ・基本的人権の保障 ・世界の政治体制	○	○	○	○	a:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解できる。 b:世界各国と日本との違いを考察し、発表できる。 c:世界のおもな政治体制について教科書の図などを使って考察できる。 d:私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。	授業プリント 定期考査
2学期	現代社会と人間としてのあり方生き方	・現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の基本原理 ・平和主義と日本の安全保障 ・冷戦終結後の防衛問題 ・平等に生きる権利 ・自由に生きる権利 ・豊かに生きる権利 ・新しい人権 ・基本的人権と公共の福祉 ・国会の運営と権限 ・内閣と行政の民主化 ・裁判所と人権保障 ・地方自治と住民の福祉 ・選挙制度の現状と課題 ・世論の形成と政治参加	○	○	○	○	a:日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 a:平和主義をめぐって、どのような動きがあったのかを理解する。 a:議会制民主主義とはどのようなものか、国権の最高機関である国会について理解する。 b:社会権が私たちの生活をどのように変えたかを考察する。 c:地方自治の意味と地方自治の発展のための課題について自分自身の問題として具体的に考察し、発表する。 d:身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 d:国会議員の選挙制度はどのようなしくみか、また、どのような課題があるのかを理解する。	授業プリント 定期考査

		・現代の経済社会と私たちの生活	・経済と私たちの生活 ・経済体制の変容 ・現代の企業 ・市場のしくみ ・国民所得と私たちの生活 ・景気変動と物価の動き ・財政のしくみと税金 ・日本の財政の課題 ・金融機関のはたらき ・雇用と労働問題 ・労働環境の整備 ・社会保障と福祉社会	○ ○ ○ ○	a:私たちの生活と密接にかかわる経済の基本的なしくみを理解し、資本主義経済と社会主義経済の特徴を理解する。 a:政府はどのような経済的役割をもっているかを理解する。 a:金融機関の果たしている役割、中央銀行の金融政策について理解する。 b:雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 c:市場の基本である「需要と供給との関係」について、図を使い、正しく理解する。 c:企業の活動内容・企業の負っている社会的責任について理解し、株式会社の特徴についてまとめる。 d:日本の社会保障制度の特徴、少子高齢社会の課題について今後の課題を考察し、理解する。	授業プリント 定期考査
3学期	現代社会と人間としてのあり方生き方	・国際経済の動向と日本の役割	・国際分業と貿易 ・国際経済体制のあゆみ ・国際収支と為替相場 ・国際経済の動向 ・進む地域的経済統合 ・発展途上国の経済と南北問題 ・国際社会のこれから	○ ○ ○	a:自由貿易と保護貿易の違いについて考え、自由貿易を進めるための国際機関の機能と役割について理解する。 b:国際経済機構や地域経済統合にはどのようなものがあるか考察する。 c:南北問題の原因、発展途上国のかかえている問題について図などを用い、理解し、南北問題解決のために日本は何をすべきか考える。 d:自由貿易推進のために国際的な協調体制がとられてきた経緯を理解し、国際収支の変化、為替相場の変動が経済に及ぼす影響について理解する。	授業プリント 定期考査